

KSN 通信 VOL.145

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

6月10日は「時の記念日」です。時間の大切さを尊重する意識を広め、生活の改善・合理化を進める目的で、1920年に制定されました。これは、天智天皇が671年に大津宮の内裏に設置したと言われている日本初の「漏刻(ろうこく)」という水時計と鐘鼓によって初めて時が知らされたという『日本書紀』の記事にもとづき、その日を太陽暦に換算して定められました。



■ KSN からのお知らせ

■ 第17回定時株主総会を開催いたしました

令和2年5月27日(水)午後1時より、弊社にて、第17回定時株主総会を開催いたしました。すべての決議事項に関しまして、原案通り承認可決されました。

現在、多方面におきまして世界的に厳しい状況が続いておりますが、今後も社会に貢献し、お客様にご満足いただけるご提案ができるよう、社員一同、鋭意努力いたす所存でございますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



■ 環境ニュース

■ 持続可能な生産消費形態のあり方検討会中間取りまとめ

～「かなえたい(サステナブルな)未来」をつくる行動を！～

平成27年の「持続可能な開発目標(SDGs)」の採択以降、SDGsへの関心は世界的に高まっています。SDGsのゴール12には、「つくる責任 つかう責任」が位置づけられており、食品・農林水産物の生産と消費の両面を持続可能なものにしていくことが求められています。農林水産省では、環境に配慮した生産活動により生み出される価値を見える化し、消費者の購買行動がこれを後押しする持続可能な消費を促進するため、昨年11月に「持続可能な生産消費形態のあり方検討会」が立ち上げられました。今般、有識者による検討が行われ、以下のような取組例が中間取りまとめとして公表されました。

- ・持続可能な生産と消費を啓発するため、事業者が連携して持続可能な商品の販売や広報等に取り組み「サステナブルデー」を創設する。
- ・持続可能な生産等を行う地域、生産者、事業者を表彰する。
- ・農山漁村における環境創造の取組等を発掘する。
- ・取引先等に過剰な包装・サービスを行わないよう普及啓発をする。
- ・生産・流通現場で生じる規格外品、未利用魚等の利活用を促進する。
- ・食品産業等の持続可能な取組が国内外の投資家、顧客、取引先に評価されるよう、情報発信を進める。

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001(代表)

FAX：072-320-9004